

会議録

会議名	第 20 回 四国中央市都市計画審議会
開催日時	令和 8 年 9 月 16 日(水) 午前 11 時 00 分
開催場所	四国中央市役所市民交流棟 2 階 会議室
出席者	【委員】井川高幸（会長）、合田久（職務代理）、尾藤淳、眞鍋幹雄、原田泰樹、吉原敦、三宅繁博、遠藤和弥、松木満志、小野渡、梶原久夫 【市・事務局】大西賢治、寺岡達宏 篠原智美、高橋秀和、苅田岳、日野匠、内田真一、仙波宏栄
傍聴者	0 人
会議内容	1 開会 2 会長選出及び会長職務代理委員の指名 3 議事 議案第 1 号 四国中央都市計画下水道の変更について（四国中央市決定） ※ 公共下水道（雨水）の区域変更 （事務局） 「議案第 1 号について説明」 （会長） 「本議案について、質問・意見を求める。」 （委員） 今回の整備に係る費用はどの程度を見込んでいるのか。 （事務局） 現時点では、国庫補助金を活用し、特に浸水被害の大きい地域から順次工事を進めていく予定であり、まずは当面の工事費として 5 億円程度を見込んでいる。 なお、これは事業全体の総事業費ではなく、現時点で実施を予定している工事に係る概算額であり、今後の物価上昇や事業内容の精査等により、事業費が変動する可能性はある。 （委員） 特に浸水被害が大きい地域について、今回具体的にはどのような整備を行うのか。 （事務局） 今回の区域のうち、現状で特に浸水被害が大きい地域は山田井第 1 排水区であり、過去にも浸水被害が多く発生している地域である。これまでに、川岸雨水調整池を整備し、雨水を一時的に貯留する対策を行ってきたが、現在も浸水被害が発生している状況である。 このため、山田井第 1 排水区から整備を進める予定である。具体的には、山田井第 1 雨水幹線および第 2 雨水幹線について現在の幅・高さ 1 m 程度の開渠水路を、道路下に幅 3 m・高さ 1 m のボックスカルバートとして拡張整備する予定である。 その後、他の排水区についても、浸水被害の状況等を踏まえ、順次整備を進めていく予定である。

会議内容	(委員) 工事は来年度から実施するのか。 (事務局) 今後、用地の取得も必要となることから、来年度については、用地買収から進めていくので、工事着手はそれ以降になる。 (委員) 今回の計画では、どの程度の降雨を対象としているのか。また、それを超える雨が降った場合にはどうなるのか。 (事務局) 従来の雨水計画では5年確率降雨で時間降雨 36.0 mmとしていたが、今回の追加箇所については、10年確率降雨を基本として、時間降雨 49.2 mmの計画降雨強度を設定している。この計画を超える降雨が発生した場合には、計画上想定した能力を超える雨水が流入することとなるため、一定の浸水リスクは残る。 (委員) 今回の区域だけでなく、四国中央市全体として、今後どの地域から雨水対策を進めていくのか、順番は決まっているのか。 (事務局) 今回の追加変更区域については、下水道事業による整備であり、浸水被害の状況等を踏まえ、優先順位を付けて整備を進める予定である。 その他の雨水対策については、浸水対策事業として土居地域の整備を進めている。今年度も下天満の西の町地区において測量・設計を行い、令和9年度以降に雨水排水施設の整備を進める予定である。 (委員) 今回は雨水のみの追加だが、汚水の整備は考えていないのか。 (事務局) 汚水については、今後の人口減少等も踏まえ、現在の計画区域を将来的に縮小していく方向で検討しているため、当該計画地域についても汚水処理の整備は考えていない。 (会長) 「原案のとおり承認する」 4 閉会
------	---